

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【公表番号】特表2011-502521(P2011-502521A)

【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-533337(P2010-533337)

【国際特許分類】

C 12 N 15/09 (2006.01)

C 07 K 19/00 (2006.01)

C 07 K 16/10 (2006.01)

A 61 K 39/21 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/00 Z N A A

C 07 K 19/00

C 07 K 16/10

A 61 K 39/21

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月28日(2011.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のポリペプチドと第2のポリペプチドとを含むHIV-1の多数の株に対する交差反応性の中和抗血清の生産を誘導することが可能な融合ポリペプチドであって、第1のポリペプチドが、配列番号2と少なくとも92%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含み、第2のポリペプチドが三量体ドメインを含む、融合ポリペプチド。

【請求項2】

第1のポリペプチドが、配列番号2を含む、請求項1記載の融合ポリペプチド。

【請求項3】

第1のポリペプチドが、配列番号2を含み、第2のポリペプチドが配列番号6を含む、請求項1記載の融合ポリペプチド。

【請求項4】

融合ポリペプチドが三量体を形成することが可能である、請求項1記載の融合ポリペプチド。

【請求項5】

三量体ドメインが配列番号6を含む、請求項1記載の融合ポリペプチド。

【請求項6】

請求項1記載の融合ポリペプチドを含む、オリゴマーポリペプチド。

【請求項7】

オリゴマーが三量体である、請求項6記載のオリゴマーポリペプチド。

【請求項8】

オリゴマーポリペプチドが相同ポリペプチドを含む、請求項6記載のオリゴマーポリペプチド。

【請求項9】

融合ポリペプチドがさらに第3のポリペプチドを含む、請求項1記載の融合ポリペプチド。

【請求項10】

第3のポリペプチドがポリペプチド切断部位を含む、請求項9記載の融合ポリペプチド。

【請求項11】

融合ポリペプチドが少なくとも1つのリンカー配列を含む、請求項1記載の融合ポリペプチド。

【請求項12】

請求項1記載の融合ポリペプチドをコードするヌクレオチド配列を含む、核酸分子。

【請求項13】

ヌクレオチド配列が配列番号3を含む、請求項12記載の核酸分子。

【請求項14】

請求項1記載の融合ポリペプチドと薬剤として受容可能な担体とを含む、免疫原性の組成物。

【請求項15】

さらにアジュバントを含む、請求項14記載の免疫原性の組成物。

【請求項16】

請求項1記載の融合ポリペプチドに特異的に結合する抗体又はその抗原結合断片。